

Kビジョン放送番組審議会（2015年2月27日）

放送番組審議会（第17期第2回会合）では、『「恋」が生まれた～映画「恋」が誕生するまでの5ヵ月間～』、『タウンニュース～下松市成人式 二十歳のメッセージ～』を合評しました。

<合評番組>

■「恋」が生まれた～映画「恋」が誕生するまでの5ヵ月間～（28分）

2015年1月1日～1月4日放送

2014年9月、下松市制施行75周年を記念した映画『恋』の撮影が下松市内で行われました。映画は、一般から公募して行われた原作をもとに、下松を舞台に大人の恋を描いた切なくも心温まる物語となっています。徳山大学で教授を務める映画監督の長澤雅彦さんを中心に、地元の人たちがスタッフとして参加し、地域でつくりあげる映画となりました。番組では、映画が完成するまでの5ヵ月間を追ったドキュメンタリーで、映画の制作現場に密着し、出演者や裏方スタッフとして参加する地元の人たちの思い、監督や主演俳優から見た現場の様子などを、実際に映画にも出演したKビジョンの福本真美の視点から伝える内容となっています。

■タウンニュース～下松市成人式 二十歳のメッセージ～（5分）

2015年1月16日放送

Kビジョンエリア内で1月に行われた成人式の中から、下松市の成人式で、新成人代表のあいさつを述べた男性と、式の様子を見守る当時の幼稚園の担任にスポットを当てて取材しました。Kビジョンチャンネルでは長年にわたり、幼稚園・保育園を紹介する番組『ちびっこくらぶ』を放送していますが、数年前から成人式の時期に合わせて、新成人が年長児だった時代の『ちびっこくらぶ』を再放送しています。タウンニュースでは今回、長年『ちびっこくらぶ』を放送してきたKビジョンならではの企画として考え、取材しました。

<合評内容>

■「恋」が生まれた～映画「恋」が誕生するまでの5ヵ月間

- ・オーディションに参加した高校生は、映画本編で主人公の高校時代のシーンに登場するのだが、番組からはそうした経緯がわかりにくいと感じた。なぜ新幹線工場が物語の舞台になったのかといった説明を加えれば、下松市のPR的要素を盛り込む番組を作ることでもできたと思う
- ・映画の公開前にこの番組を放送することができれば、映画を見ていない人にPRできるため、映画の集客力アップにつながったのではないか。あるいは稲穂祭の様子を生中継して、その中で映画のメイキングを放送すれば、より親しんで番組を見てもらえたのではないか
- ・オーディションや撮影の様子などが紹介されていて、映画本編を見ていない人でも、映画を見たような気になることができる内容だと感じた
等のご意見をいただきました。

■タウンニュース～下松市成人式 二十歳のメッセージ～

- ・番組からは新成人を迎えた若者たちの爽やかさや素朴さを感じることができた。周南地域は成人式の式典についての評価も全国的に高く、文化度の高さが表れていると感じた
- ・新成人が園児時代に出演した『ちびっこくらぶ』が番組中に使われていて、過去と現在との対比がうまく表現されている。過去の映像を使って、当時をふり返ることができるのは『ちびっこくらぶ』が長年にわたって続いていることの強みだ。今後もこの企画を続けてほしい
- ・あえて当時の担任にスポットを当てたのは、今までにない視点だったと感じた。内容も成長した子どもとの心のふれあいを描いていて、よかったと感じた
- ・成人式を迎えたことをただ伝えるだけでなく、成人式は本来どういうものなのかを真摯にとらえた内容だと感じた
- ・幼稚園時代のインタビューと、成人を迎えた現在の成長ぶりを見せるのは、すばらしい企画だと感じた
等のご意見をいただきました。

出席者は、末岡泰義委員長、なかはらかぜ、原田幸雄、梅本真里恵、河島 建の各委員、社側から長尾一郎代表取締役社長、杉田昌士専務取締役、他放送制作部員4名でした。